

## 取扱説明書

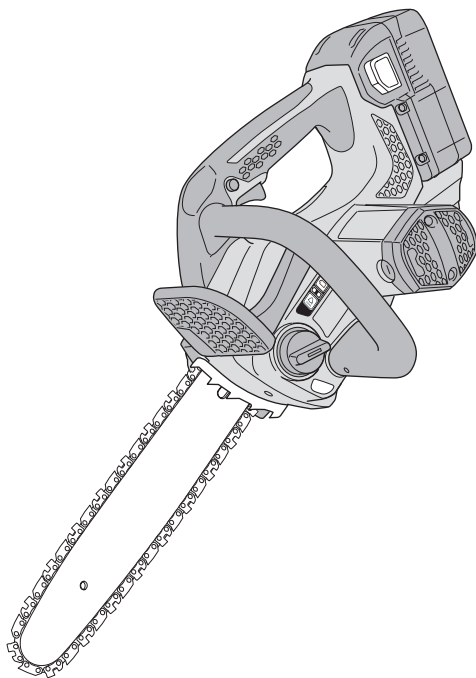
### 用途

- 木材や丸太の切断
- 庭木の枝打ち、伐採

# 日立 コードレス チェンソー

## ブレーキ付 CS 36DL

このたびは日立コードレスチェンソーをお買い上げたいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



|                   |    |
|-------------------|----|
| 警告表示について          | 1  |
| コードレス工具の安全上のご注意   | 2  |
| 本製品の使用上のご注意       | 6  |
| リチウムイオン電池の使用上のご注意 | 10 |
| 各部の名称             | 12 |
| 標準付属品             | 13 |
| 別売部品              | 13 |
| 仕様                | 14 |

はじめに

|               |    |
|---------------|----|
| ソーチェンの取付け(交換) | 15 |
| ご使用前の点検と準備    | 18 |
| 各種操作について      | 21 |
| キックバックについて    | 23 |
| チェンブレーキについて   | 24 |
| 充電する          | 25 |
| 木材を切断する       | 27 |
| 切断作業上のご注意     | 30 |
| ソーチェンの目立て     | 31 |

使い方

|         |     |
|---------|-----|
| 保守・点検   | 33  |
| 保管方法    | 36  |
| 故障診断    | 37  |
| ご修理のときは | 裏表紙 |

その他

# 警告表示について

当該製品に関する安全な使用方法、予見可能な危険の排除、ご使用時の危険回避などを目的に本機および取扱説明書に下記の表示をしております。

これらの表示以外に関しても十分安全に配慮してご使用ください。



取扱説明書または本機に表示の危険、警告、注意などに従って安全に使用してください。



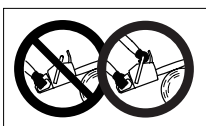
保安帽（ヘルメット）、保護メガネ、手袋、安全靴など防護具を着用してください。



雨の中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。



キックバックに注意してください。ガイドバー先端での作業はしないでください。



片手で使用しないでください。必ず両手でハンドルを確実に握って使用してください。

## ⚠ 危険、⚠ 警告、⚠ 注意、📌 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 危険」、「⚠ 警告」、「⚠ 注意」、「📌 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

- ⚠ 危険** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負う事が想定される内容のご注意。
- ⚠ 警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
- ⚠ 注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

**📌 注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

# コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## ⚠ 警告

### ① 専用の充電器や蓄電池を使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。

### ② 正しく充電してください。

- この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 温度が0℃未満、または温度が40℃を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。正しく充電されないばかりか、蓄電池の寿命が短くなります。また、破裂や火災の恐れがあります。
- 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などでおおわないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

### ③ 蓄電池の端子間を短絡(ショート)させないでください。

- 釘袋などに入れると、短絡(ショート)して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。

### ④ 感電に注意してください。

- ぬれた手で、充電器の電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

### ⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体・充電器・蓄電池は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。  
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。  
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

### ⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。  
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

## 警告

- ⑦ **加工するものをしっかりと固定してください。**
  - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。。
- ⑧ **次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。**
  - 使用しない、または、修理する場合。
  - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。  
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **不意な始動は避けてください。**
  - スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
工具本体が作動して、けがの原因になります。
- ⑩ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
  - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
事故やけがの原因になります。
- ⑪ **蓄電池を火中に投入しないでください。**
  - 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

## 注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。  
けがの原因になります。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
  - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車など）に保管しないでください。蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
- ④ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
  - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。  
発煙、発火の恐れがあります。

## ⚠ 注意

### ⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。

- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

### ⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

### ⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。

### ⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。

### ⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードを点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 充電器に延長コードを使用する場合は、事前に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

### ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。

### ⑪ 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

## ⚠ 注意

### ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。

- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。

### ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡(ショート)して発火する恐れがあります。
- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。

### ⑭ コードレス工具の修理は、専門店で依頼してください。

- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
- 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

# 本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスチェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 危険

### 高所での枝打ち、枝払い作業について

木の上及び高所（2メートルを越える箇所）での作業は、足場が不安定になり非常に危険です。以下の内容を守り、安全に作業してください。

また、作業前に専門の技術指導を受け、十分に訓練した上で作業してください。

- ① 高所作業用機器を使用し、安定した足場を確保すると同時に安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかり固定させてください。
- ② はしごを使用しての作業、片手持ち作業、腕を伸ばしてのチェーンソー操作は行わないでください。  
作業範囲は作業者の肩から腰の高さとし、それ以外では作業しないでください。

## ⚠ 警告

- ① 保護具を着用し、きちんとした服装で作業してください。

- 保護具をつけずに作業すると、飛散物が身体に当たるなどけがの原因になります。

- ② 作業はゆとりを持って行ってください。また、身体を冷やさないようにしてください。

- ③ 子供や取扱説明書をよく読んでいない人、または取扱いに不慣れた人には工具を使用させたり、貸さないでください。

- 初めて使用する方は、販売店や熟練者に操作方法、注意事項をよく教わって十分習得し、取扱説明書をよく読んでから使用してください。

- ④ 作業に入る前に作業手順をよく考え、事故が起きないようにしてください。

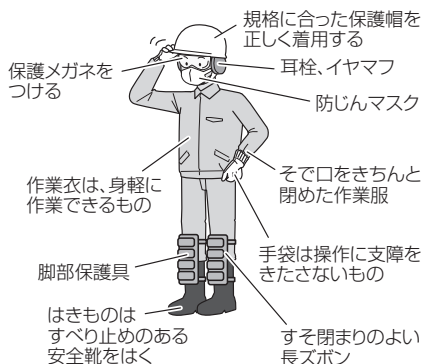
- けがの原因になります。

- ⑤ 風、雨、大雪、濃霧などの悪天候のとき、また落石、雪崩の恐れのある場所では使用しないでください。

- 悪天候により判断が鈍ったり、振動により災害を引き起こす原因になります。

- ⑥ 夜間や天候不良などの視界が悪いときは使用しないでください。また、雨の中や雨上がりのぬれた場所では使用しないでください。

- 足もとが不安定で、バランスを失い、事故の原因になります。



## 警告

- ⑦ 始動前にガイドバーやソーチェンを点検してください。
  - ガイドバーやソーチェンにひび割れ、傷、曲がりがある物は使用しないでください。
  - ガイドバーやソーチェンが確実に取付けられているか確認してください。ガイドバーやソーチェンが割れたり、はずれたりすると事故の原因になります。
- ⑧ 作業前にロックオフボタンを押しながらでないと、スイッチが引けないことを確認してください。
  - 故障しているときは使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- ⑨ ソーチェンは、取扱説明書に従って正しく取付けてください。
  - 誤った取付け方をすると、ガイドバーからソーチェンがはずれ、けがの原因になります。
- ⑩ チェンソーに装備されている各種の安全装置（ブレーキレバー、ロックオフボタン、チェンキャッチャーなど）は絶対に取りはずさないでください。また、改造したり、固定しないでください。
  - けがの原因になります。
- ⑪ スイッチを入れるときには注意してください。
  - 15 m以内に人や動物を近づけないでください。
  - ソーチェンが地面、または障害物に接触していないことを確認してください。不用意な始動は、けがや火災の原因になります。
- ⑫ キックバック防止のため、ガイドバー先端部（特にガイドバーの上部1/4の部分）での作業は行わないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
  - 機体がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。
- ⑬ 使用中はフロントハンドルは左手、リアハンドルは右手で確実に保持し、両足を開き安定した姿勢で作業してください。また、足場の悪い場所で作業するときは、周囲を整備し足場を確保してください。
  - 安定しない姿勢での作業は、けがの原因になります。
- ⑭ 使用中は、ソーチェン、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
  - けがの原因になります。
- ⑮ 電線、ガス管などが設置してある場所では安全に十分注意してください。
- ⑯ 次の場合はスイッチを切り、ソーチェンの動きが止まるのを確認してください。
  - 使用しない、または修理する場合。
  - 作業場所を移動する場合。
  - ソーチェンやガイドバーやチェンケース、その他機体の点検、調整、交換などを行う場合。
  - チェンオイルを補充する場合。
  - 機体に巻き付いたごみや取除く場合。
  - 作業場所の障害物を取除いたり、作業で発生したごみ、切り粉などを運ぶ場合。
  - 機体を身体からはずす場合、機体からはなれる場合。
  - その他、危険を感じた場合、危険が予想される場合。ソーチェンが動いたままでは、思わぬ事故が起こります。



## ⚠ 警告

- ⑰ 作業は原則として一人で行い、複数で作業するときは十分な間隔を取ってください。  
特に、立ち木の伐採や斜面での作業では、木の倒れ、転がり、すべりを予測し、他の作業者に危険がないことを確認してください。  
• 倒れる木に当たるなどけがの原因になります。
- ⑱ 他人を 15 m以内に近づけないでください。  
また、二人以上で作業する場合も、15 m以上はなれてください。  
• 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。  
• 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。
- ⑲ 立ち木を伐採する前に、次のことを実施してください。  
● 伐採する前に安全な退避場所を確保する。  
● 邪魔になる障害物（枝、灌木など）をあらかじめ除去する。  
● 伐採する木の状態（幹の曲がり、枝の張りなど）、周囲の状況（隣接する木の状態、障害物の有無、地形、風向きなど）を総合的に判断して立ち木を倒す方向を決めて、伐採の手順を計画する。  
• 不用意な伐採作業は、けがの原因になります。
- ⑳ 立ち木の伐採中は、次のことを実施してください。  
● 作業中は常に木の倒れる方向に注意する。  
● 傾斜地では、木が転がらないことを確認の上、常に山側に立って作業する。  
● 木が倒れ始めたらスイッチを切り周囲に警戒の合図を行い、直ちに安全な場所に退避する。  
● 作業中にソーチェン、ガイドバーが木に挟まれたときはスイッチを切りクサビを使用する。
- ㉑ 曲げられている枝、かかり木、裂けている木などは切断終了時の跳ね返りに注意してください。  
• できる限り十分な訓練と経験を積んだ専門者に依頼してください。
- ㉒ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
• そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ㉓ 誤って落したり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
• 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ㉔ 機体を車で運搬する場合は、機体が動かないように固定してください。  
• 事故の原因になります。
- ㉕ 【事業者の方へ】  
立木の伐採、かかり木の処理または造材の業務は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。  
詳しくは、各都道府県の林業・木材製造業労働災害防止協会等にお問い合わせください。

関連法令 労働安全衛生法 第59条  
労働安全衛生規則 第36条第8号および第8号の2  
安全衛生特別教育規程 第10条

## ⚠ 注意

- ① 使用しないときは、ガイドバーにチェーンケースをし、ソーチェンがむき出しにならないようにして、お子様の手の届かないところに保管してください。
  - けがの原因になります。
- ② チェーンケースを付けたまま、スイッチを入れないでください。
  - けがの原因になります。
- ③ 材料に釘などの異物がないことを確かめてください。
  - ソーチェンが釘などに当たると、けがの原因になります。
- ④ 切り落とし寸前や切断中に材料の重みで、ガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。
  - ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。
- ⑤ 蓄電池は確実に取付けてください。
  - 確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ⑥ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑦ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑧ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。
- ⑨ 使用後に機体を運搬したり、保管する場合は、ソーチェンはずすか、チェーンカバーをかぶせてください。
  - ソーチェンが身体に触れて、けがの原因になります。
- ⑩ 機体は注意深く手入れしてください。
  - 安全に効率よく作業していただくために、ソーチェンは常に手入れし、よく切れる状態にしてください。
  - ソーチェンやガイドバーの交換、機体の手入れ、注油などは取扱説明書に従ってください。
- ⑪ 修理は専門店で依頼してください。
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
  - 修理は必ずお買い求めの販売店に依頼してください。  
ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。
- ⑫ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - チェンオイルを抜き取り、乾燥した場所で子供の手の届かない所または鍵のかかるところに保管してください。
- ⑬ 警告ラベルが見えなくなったり、はがれたり、不鮮明になった場合は新しい警告ラベルと取換えてください。
  - 警告ラベルはお買い求めの販売店に依頼してください。
- ⑭ 作業に当たって、その地域の規則や取り決めがある場合はそれに従ってください。

# リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品にはリチウムイオン電池が標準で付属されております。(NN仕様除く)  
リチウムイオン電池の寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能がついています。

本製品を使用中、スイッチを引いたままでも下記①、②、③の場合、モーターが停止する場合がありますがこれは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなると(電池電圧 20 Vまで低下)モーターが停止します。  
このときは速やかに充電してください。
- ② 本体が過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。  
このときはいったんスイッチをはなし、過負荷の原因を取除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。このときは、蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日陰などで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに次に述べる注意事項を守ってください。

## ⚠ 警告

**蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。**

- ① 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 作業中に切りくずが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 作業中に工具本体にたまった切りくず、ほこりが蓄電池に降りかからないようにしてください。
  - 蓄電池を使用しないとき切りくず、ほこりが降りかかる場所に蓄電池を放置しないでください。
  - 保管時、蓄電池は切りくず、ほこりを落とし、金属製の部品(ねじ、釘など)とは別々にしてください。
- ② 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ③ 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ④ (+)(-)を逆にして使用しないでください。
- ⑤ 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
- ⑥ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑦ 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
- ⑧ 蓄電池を電子レンジに入れたり、高圧容器に入れるなど過熱、高圧を与えないでください。
- ⑨ 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。

## ⚠ 警告

- ⑩ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑪ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発生したり、発熱、変色、変形その他今までと異なる事に気がついたときは、直ちに使用機器あるいは充電器より取り出して使用しないでください。

## ⚠ 注意

- ① 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
  - 放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
  - 皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われるときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

## 蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店にご持参ください。

なお、新しい蓄電池は、当社純正品をお使いください。当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証はできません。

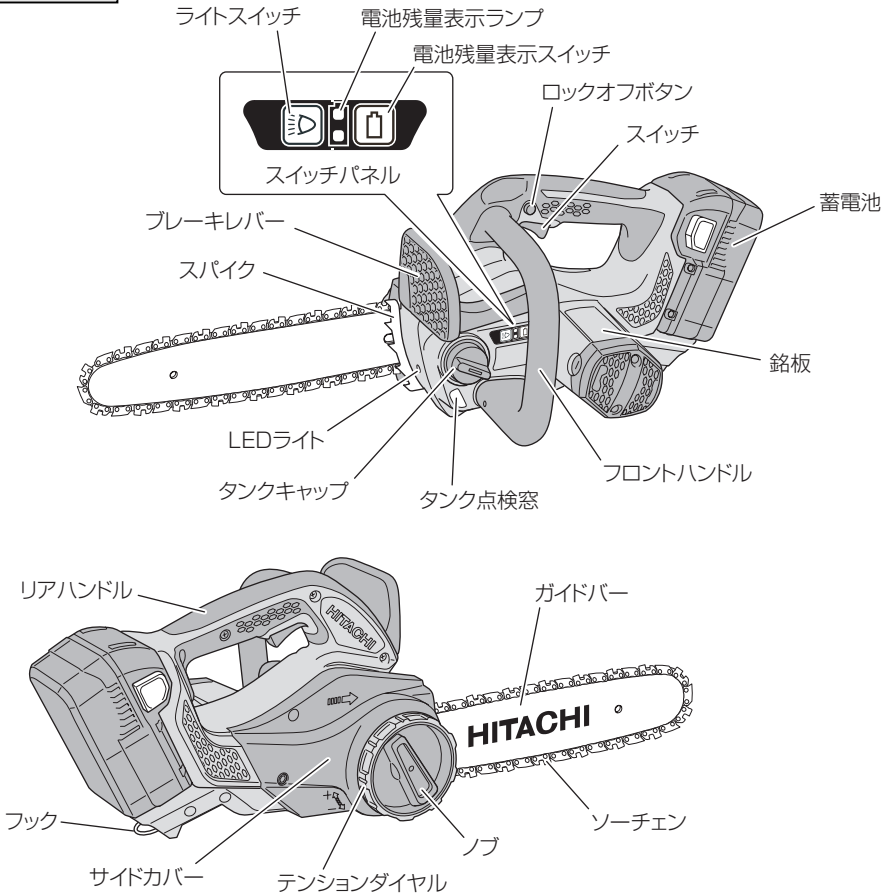


### ○ 騒音防止規制について

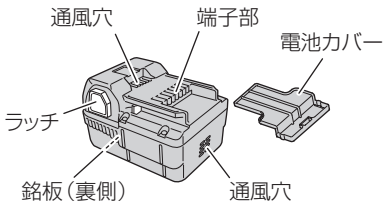
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# 各部の名称

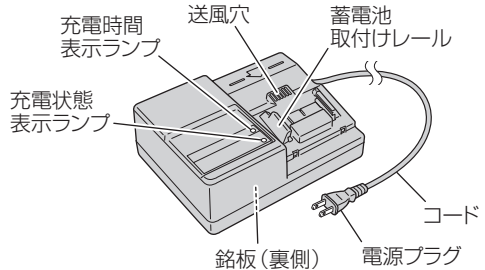
## 工具本体



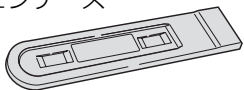
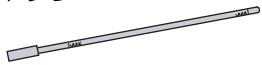



## 蓄電池



## 充電器

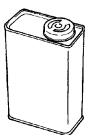
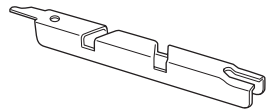
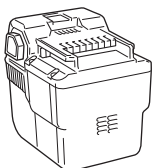



# 標準付属品

| 品名・形名            | 仕様  | 2 LBC             | NN  |
|------------------|---|-------------------|-----|
| 蓄電池              | BSL 3620  | 2 個 (本体装着 1、予備 1) | —   |
| 充電器              | UC 36YL2  | 1 台               | —   |
| チェーンケース          |  | 1 個               | 1 個 |
| 丸やすり             |  | 1 個               | 1 個 |
| チェーンオイル          |  | 2 個               | 2 個 |
| 電池カバー            |  | 2 個               | —   |
| 六角棒スパナ<br>(4 mm) |  | 1 個               | 1 個 |

# 別売部品

日立電動工具販売店でお求めください。  
(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

|   |  |
|---|--|
| <p>チェーンソー用オイル (1000 mL)</p>  | <p>デブスゲージジョインター</p>   |
| <p>蓄電池<br/>BSL 3626</p>      | <p>蓄電池<br/>BL 36200<br/>(大容量 21 Ah 背負式電源)</p> <p>※使用方法は、<br/>BL 36200 の<br/>取扱説明書を<br/>お読みください。</p>  |

# 仕 様

## 1. 工具本体

| 形 名                          | CS 36 DL                                |
|------------------------------|---|
| ソ ー チ ェ ン                    | 91 PX-45E                               |
| バ ー サ イ ズ<br>(最大切断長さ)        | 300 mm                                  |
| 無負荷チェーンスピード                  | 8.3 m/s (500 m/分)                       |
| 蓄 電 池                        | 円筒密閉形リチウムイオン電池                          |
| 電 池 電 圧                      | 36 V                                    |
| モ ー タ ー                      | 直流モーター                                  |
| チェーンオイル給油方式                  | 自動給油                                    |
| チェーンオイル使用オイル                 | 日立チェーンソー用オイル または 市販のチェーンオイル             |
| 工 具 本 体 寸 法<br>全長 × 全幅 × 全高  | 618 mm × 256 mm × 214 mm (BSL 3620 装着時) |
| 質 量                          | 4.4 kg (BSL 3620 装着時)                   |
| オイルタンク容量                     | 80 mL                                   |
| L E D ラ イ ト                  | 白色LED                                   |
| 残 量 表 示 ラ ン プ                | 赤色LED                                   |
| 振 動 3 軸 合 成 値 * <sup>1</sup> | 5.0 m/s <sup>2</sup> * <sup>2</sup>     |

※1：振動3軸合成値(周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値)については、  
JEMA [一般社団法人日本電機工業会]  
ウェブサイト：<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powerool.html>  
をご参照ください。

※2：振動3軸合成値は、EN60745-2-13規格に基づき測定しています。

## 2. 充電器

| 形 名                 | UC 36YL 2  |
|---------------------|--|
| 入 力 電 源             | 単相交流 50/60Hz 共用<br>電圧 100 V                        |
| 充 電 時 間<br>[気温20℃時] | BSL 3620 …約40分<br>BSL 3626 …約25分<br>BL 36200 …約6時間 |
| 充 電 電 圧             | 14.4 V - 36 V                                      |
| 充 電 電 流             | BSL 3620 …3 A<br>BSL 3626、BL 36200 …6 A            |
| コ ー ド               | 2心ビニールコード  |
| 質 量                 | 1.3 kg   |
| 使用温度範囲              | 0℃～40℃   |
| 冷 却                 | 対応 (ファン付き)   |
| ブ ザ ー 音             | あり   |
| 表 示 ラ ン プ           | LED  |

## 3. 蓄電池

| 形 名 | BSL 3620             |
|-----|----------------------|
| 容 量 | 2.0 Ah<br>{2000 mAh} |
| 冷 却 | 対応                   |

# ソーチェンの取付け(交換)

## ⚠ 警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いておいてください。

**注** • ソーチェンの取りはずしの際には、オイル吐出口、オイル穴、ガイドバー溝およびその周辺の切粉を削除してください。  
切粉などがたまっていると故障の原因になります。

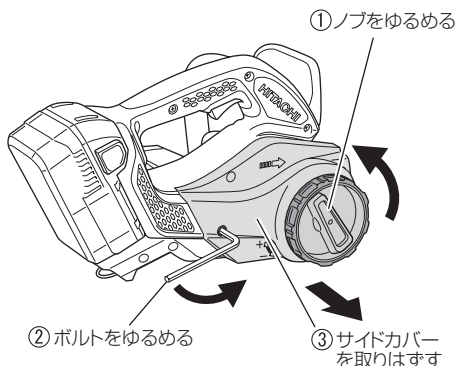
• ソーチェンは仕様に明記してある正しいタイプのもを使用してください。

誤ったタイプを取付けるとガイドバーからソーチェンがはずれ、けがの原因になります。

## はじめて使用するとき

工場出荷時は、ソーチェンとガイドバーは別梱包になっています。

ソーチェンとガイドバーの取付けは、下図の手順でサイドカバーを取りはずした後、③～の手順で、ソーチェンを取付けてください。

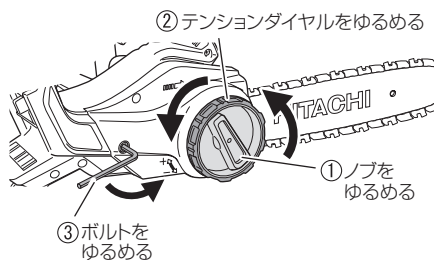


## ⚠ 注意

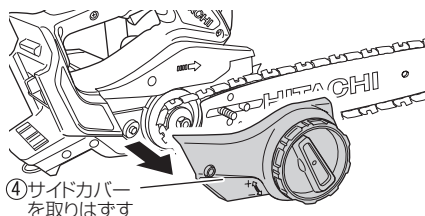
手袋を着用し、ソーチェンだけがをしなないように注意してください。

## 1 サイドカバーを取りはずす

- ① ノブを1回転させて、ゆるめます。
- ② テンションダイヤルを半回転させてゆるめます。
- ③ ボルトを付属の六角棒スパナで空回りするまでゆるめます。



- ④ ノブを回して、サイドカバーを取りはずします。

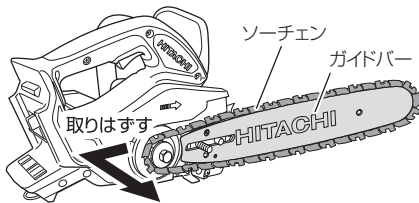




2

## ソーチェン、ガイドバーを取りはずす

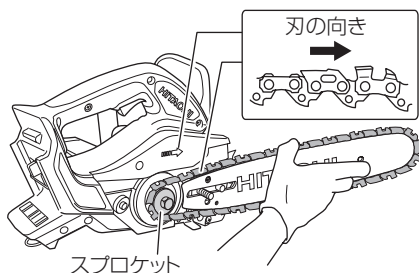
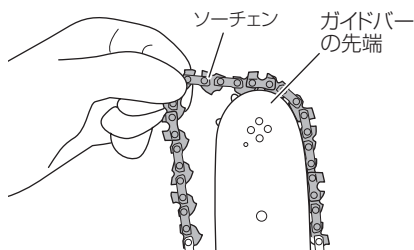
ソーチェンとガイドバーを矢印の方向に取りはずします。



3

## 新しいソーチェンをスプロケットにかみ合わせる

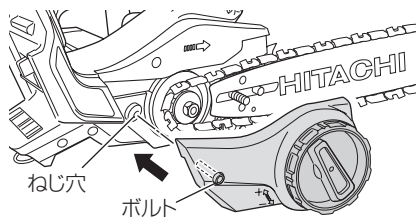
ガイドバーの先端に、ソーチェンの向きに注意してはめ込んだ後、ソーチェンをスプロケットに正しくかみ合わせます。



4

## サイドカバーを取付ける

①ボルトとねじ穴を合わせます。



②サイドカバーのチェンビキボスを、ガイドバーのチェンビキ穴のようにテンションダイヤルを調整して、サイドカバーを取付けます。

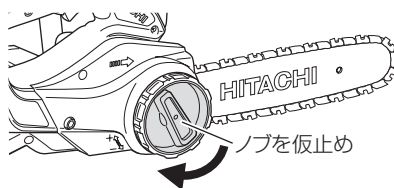


ガイドバーとソーチェンを軽く引きながら取付ける

### ソーチェンの取付けのコツ

ガイドバーからソーチェンがはずれやすいので、ガイドバーとソーチェンを、軽く先端方向に引きながら、サイドカバーを取付けてください。

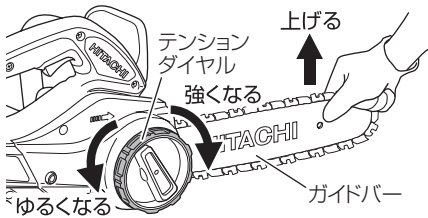
③ノブを一回転させて、仮止めします。



# 5

## ソーチェンの張りを調整する

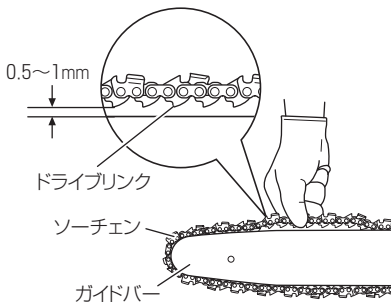
- ガイドバーの先端を持ち上げながら、テンションダイヤルを回し、ソーチェンの張り調整します。
- テンションダイヤルを右に回すとソーチェンの張りは強くなり、左へ回すとゆるくなります。



# 6

## ソーチェンの張りを確かめる

ソーチェンの張りは、ガイドバーの中央付近でソーチェンを軽く持ち上げたとき、ソーチェンのドライブリンクとガイドバーのすき間が0.5～1mm程度となるように調整します。



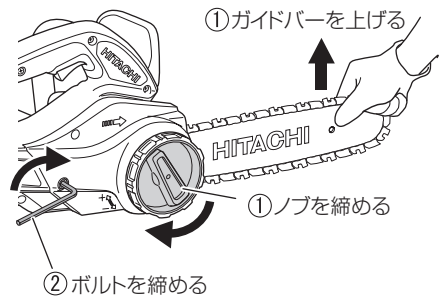
# 警告

調整後、ノブが十分締まっていることを確認してください。  
ゆるんでいると、けがの原因になります。

# 7

## ノブを締める

- ①調整が終了したら、ガイドバーを上を持ち上げながら、ノブを十分締付けてください。
- ②ボルトをしっかり締付けてください。



# ご使用前の点検と準備

## 警告

- 万一の事故を防止するため、手順 ①～④については、必ず蓄電池を本体から抜いた状態で確認してください。
- ロックオフボタンを押し込んだ状態で固定しないでください。  
誤ってスイッチを引いたとき、不意に動き出しけがの原因になります。

### はじめて使用するとき

工場出荷時は、ソーチェンとガイドバーは別梱包になっています。

P 15 の「ソーチェンの取付け(交換)」の手順に従って、ソーチェンとガイドバーを取付けてからご使用ください。

## 1 スイッチが切れていることを確かめる

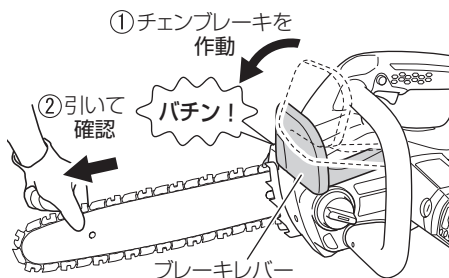
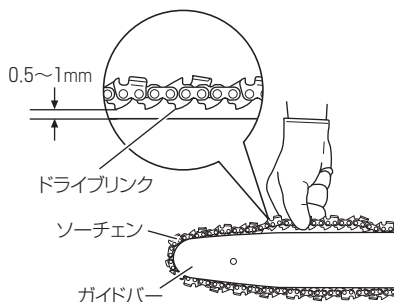
- スイッチが入っているのを知らずに蓄電池をさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。
- スイッチはロックオフボタンを押しながら引くと入り、はなすと切れます。(P 21 「スイッチの操作について」)

## 3 チェンブレイキの作動を確かめる

- ① ブレーキレバーを矢印の方向に強く押ししてください。『パチン』と音がします。  
これでチェンブレイキが作動します。
- ② この状態にしてソーチェンを手で(厚手の手袋着用)引っ張ってみます。ソーチェンが動かないことを確認してください。(P 24 「チェンブレイキについて」)

## 2 ソーチェンの張り具合を確かめる

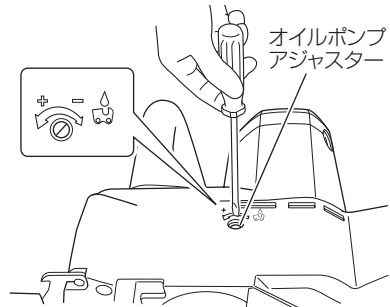
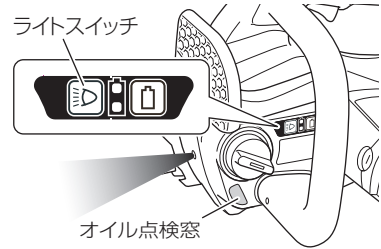
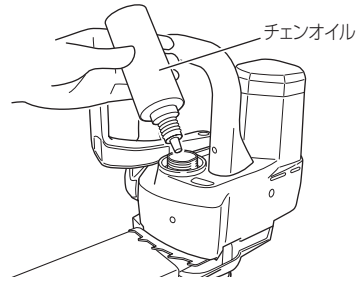
- ソーチェンが適切に張られていないと、ソーチェンやガイドバーを傷め、故障の原因になります。P 17 「ソーチェンの取付け(交換)」の⑤～⑦をご覧になり、適切に張られていることを確かめてください。
- ソーチェンが新しい間は、特に伸びやすいので、ときどき張り具合を点検し、調整してください。
- ノブの締付けも点検してください。



# 4

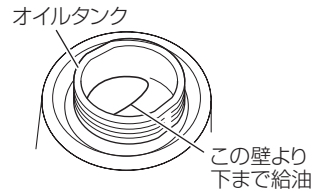
## チェーンオイルを確認する

- 本機はチェーンオイルを入れないで出荷しています。ご使用前に必ず、オイルタンクに付属のチェーンオイルを入れてください。
- 作業中もオイル点検窓から時々確認して、少なくなったら補充してください。
- スイッチパネルのライトスイッチを押すとLEDライトが点灯し、内側からの照射光により見やすくなります。(P 20 手順 ⑥ で確認してください。)
- 付属のチェーンオイルがなくなりましたら、別売部品の日立チェーンソー用オイルまたは市販のチェーンオイルを使用してください。
- チェーンオイルは自動給油です。  
自動給油の吐出量は工場出荷時、最大吐出量に調整されています。  
吐出量を減らすときは、本体裏側のオイルポンプアジャスターを時計方向に回してください。



### 注

- オイルタンクの容量は約 80 mL です。多く入れても注ぎ口より溢れ出してしまいます。目安として図の位置以下に給油してください。
- チェーンオイルは、余分に買い置きしておくことをおすすめします。チェーンオイルがない状態で作業を続けると、ソーチェーンの焼き付きや、モーター故障の原因になります。
- オイルタンクにごみなどが入らないように気をつけてください。ごみなどの異物が入ると、故障の原因になります。
- 本機は構造上、タンクに残ったチェーンオイルが漏れることがあります。故障ではありませんが、保管場所が汚れることがありますので、ご注意ください。保管するときは、オイルタンク内のオイルを抜いて空にし、本体の下にはオイルが付いてもよい物を敷いてください。
- オイル補充は、稼働時間 15 分を目安に行ってください。(※切断使用条件により異なります。)



## ⚠ 注意

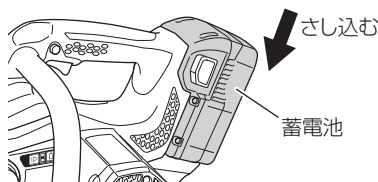
蓄電池は確実に取付けてください。  
確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

## ⚠ 注意

ブレーキが働くときの反発力に注意してください。  
本体を落としたりし、けがの原因になります。

## 5 蓄電池を取付ける

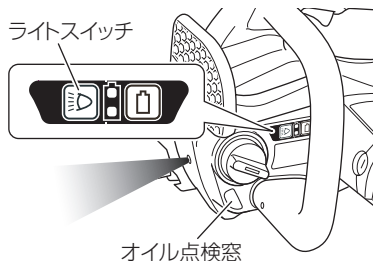
下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



**注** ライトに付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、ライトに傷が付かないように注意してください。  
ライトに傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

## 6 LEDライトの点灯を確かめる

- ライトスイッチを押すとLEDが点灯し、はなすと消灯します。
- LEDライトは刃先部を照射します。
- オイル点検窓の内側より照射して、オイルの残量を確認しやすくします。

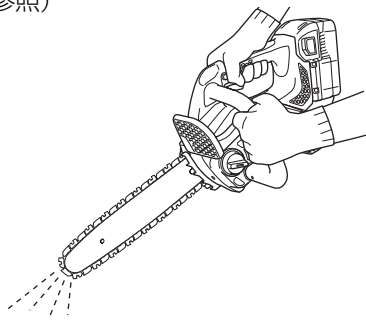


## 7 ブレーキがかかることを確かめる

- この本体は、ロックオフボタンを押しながらスイッチを引くとスイッチが入り、はなすと切れます。
- また、スイッチをはなすと1～3秒後にソーチェンの回転にブレーキがかかる構造になっています。
- ご使用前に、ブレーキがかかることを確認してください。

## 8 チェンオイルの吐出を確かめる

- スイッチを入れるとソーチェン、ガイドバーに自動的にチェンオイルが給油されます。
- 2～3分回転させてもオイルが出ない場合には、オイルの吐出口回りに切粉がたまっていないか確認してください。  
(P 34「チェンオイル吐出口の清掃」参照)  
(P 19 ④「チェンオイルを確認する」参照)



# 各種操作について

## ●スイッチの操作について

ロックオフボタンを押しながらスイッチを引くと、ソーチェンが回転します。

ロックオフボタンを押さない状態では、スイッチが引けない構造になっております。

スイッチが入った後は、スイッチを引いているかぎり、ソーチェンは回転を続けます。また、LEDライトも点灯し続けます。

スイッチをはなすと、ソーチェンの回転にブレーキがかかり停止します。

### ⚠ 警告

**ロックオフボタンを押し込んだ状態で固定しないでください。**

誤ってスイッチを引いたとき不意に動き出し、けがの原因になります。






## ●電池残量表示について

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示スイッチから指をはなすとランプは消灯します。

ランプの点灯状態と電池残量は以下のようになっています。

| ランプの点灯状態  | 電池残量                        |
|---|-----------------------------|
|  | 十分電池残量があります。                |
|  | 電池残量が半分になっています。             |
|  | 電池残量が少なくなっています。早めに充電してください。 |

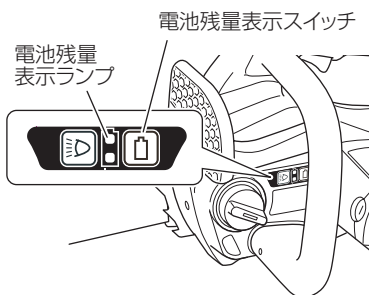
電池残量表示は、周囲温度、電池特性等で多少異なりますので、目安として見てください。

### ⚠ 注意

**スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。**

故障の原因になります。

**注** 電池の消耗を少なくするため、電池残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。



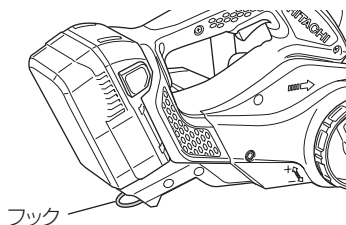
## ●フックの使い方

### ⚠ 警告

フックを使用するときは、工具本体が落下しないように、しっかりと掛けてください。

工具本体が落下すると、事故の恐れがあります。

フックを本機から引き出して、ロープ等を結べば、本機を吊り下げることができます。



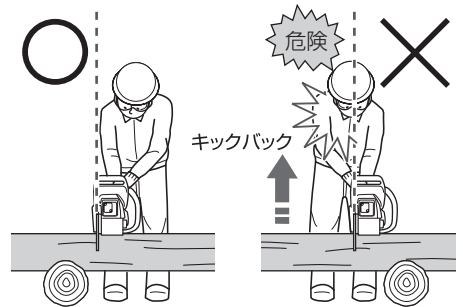
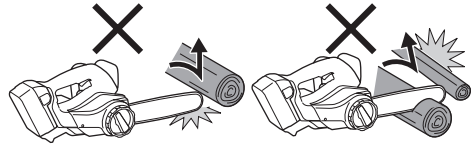
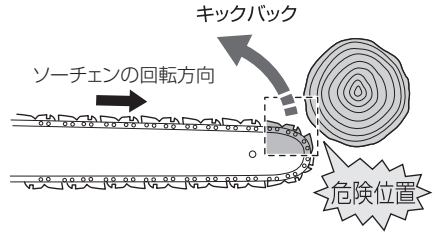
# キックバックについて

ガイドバー先端部の上半分が木材に触れると、ソーチェンの回転でガイドバー先端部が木材を駆け上がる力が働き、作業者の上半身に向かって跳ね返すキックバックが発生します。

ガイドバーの先端が切落とす枝の後ろにある丸太や小灌木にぶつかってキックバックを起こすことがあります。

裏側にそのような物がないかよく確認してから作業をしてください。

万一キックバックが発生しても、危険性を最小限にするため、左手でフロントハンドル、右手でリアハンドルを持って作業してください。身体の芯（頭部）に跳ね返ることが避けやすくなります。





# チェンブレーキについて

## ⚠ 警告

- チェンブレーキは緊急時の停止装置ですが万全ではありません。常にキックバックが発生しないように注意しながら作業してください。
- チェンブレーキは緊急時や始動時に使用する物です。むやみに使用しないでください。
- チェンブレーキはこの屑などが詰まって動きが悪くならないように、こまめに手入れしてください。
- チェンブレーキは、安全にご使用していただくための重要な装置です。常に点検をしてください。

ブレーキの作動が不確実なときは、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

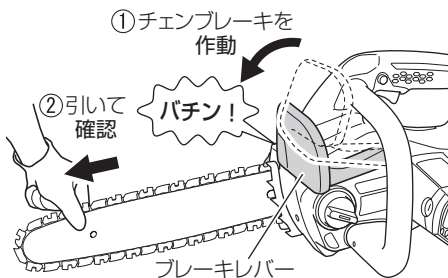
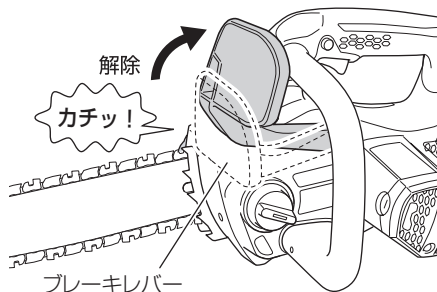
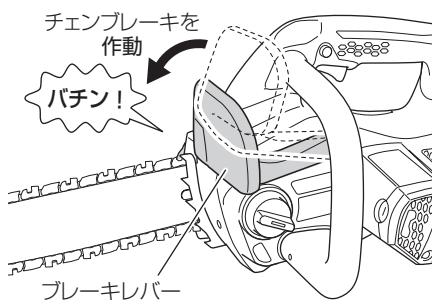
チェンブレーキはキックバックなどが発生したとき、緊急にソーチェンの動きを停止し、危険を少なくするための装置です。(P 23「キックバックについて」参照)

ブレーキレバーを矢印の方向に強く押すと、『バチン』と音がします。これで、チェンブレーキが作動し、ソーチェンが動かなくなります。

ブレーキレバーを手前に引けば、解除されます。

チェンブレーキの作動確認をするときは、必ずスイッチを切り、蓄電池を抜いてからブレーキレバーを作動状態にしてソーチェンを手で引っ張ってみます。ソーチェンが動かなければチェンブレーキが作動しています。

**注** 必ず厚手の手袋を着用してください。ソーチェンは非常に鋭い刃になっているので、無理に引くと指をけがします。



# 充電する

ご使用前、新品時、長期間ご使用にならなかったとき、残量が残り少なくなったときは、次のように充電してください。

## 1 電源を確認する

この充電器は交流 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、充電器が異常に発熱し、故障します。また、直流電源、エンジン発電機、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。

## 2 コンセントを確認する

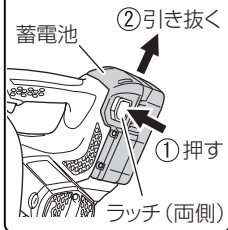
コンセントがガタついたり、電源プラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

## 3 電源プラグをコンセントにさし込む

充電状態表示ランプが赤の点滅を繰り返します。  
(P26「充電ランプの表示について」参照)

## 4 蓄電池を充電器にさし込む

取りはずすとき



- 蓄電池を右図に示す線が見えるまでしっかりとさし込んでください。
- 充電を開始すると、充電時間表示ランプが赤／橙／緑の

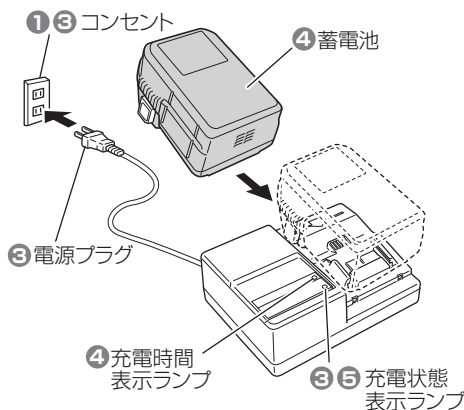
いずれかに連続点灯して、充電完了までの時間をお知らせします。

## 警告

手順 ①、② については、充電器の電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

## 5 充電が終わったら

- 充電が完了すると、充電状態表示ランプが緑に連続点灯し、ブザーが「ピー」と6秒鳴ってお知らせします。
- 電源プラグをコンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

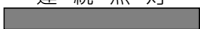





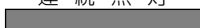



**充電時間：約40分**

**注** 充電時間は周囲温度や蓄電池の状態により長くなることがあります。

## ●充電ランプの表示について

充電器には、充電時間の目安を表示する「充電時間表示ランプ」と充電状態を表示する「充電状態表示ランプ」がついてます。各ランプの表示内容は以下のようになっています。

| ランプ           | ランプの表示 |  | 表示内容   |
|---------------|--------|--|--|
| 充電時間<br>表示ランプ | 赤点灯    | 連続点灯<br>          | 充電完了まで約 30分                                  |
|               | 橙点灯    | 連続点灯<br>          | 充電完了まで約 20分                                  |
|               | 緑点灯    | 連続点灯<br>          | 充電完了まで約 5分                                   |
|               | 赤点滅    | 0.3秒点灯／0.3秒消灯<br> | 蓄電池の温度が高くて充電できません。<br>(温度が下がると自動的に充電を開始します。) |
| 充電状態<br>表示ランプ | 赤点滅    | 0.5秒点灯／0.5秒消灯<br> | 電源にさし込んだ状態                                   |
|               | 赤点灯    | 連続点灯<br>          | 充電中  |
|               | 緑点灯    | 連続点灯<br>          | 充電完了   |
|               | 橙の速い点滅 | 0.1秒点灯／0.1秒消灯<br> | 充電器または蓄電池に異常あります。<br>(下記参照)                  |

- 注**・背負式電源BL 36200 (別売)の充電中は、充電時間表示ランプが点灯しません。
- ・橙の速い点滅(0.1秒点灯/0.1秒消灯)を繰り返し、ブザーが「ピッピッピ」と約2秒鳴るときは、蓄電池の取付け部または蓄電池の端子部に異物が入っていないか確認し、異物が入っていた場合は取除いてください。異物が入っていない場合は、充電器または蓄電池の異常と考えられますので、充電器と蓄電池の両方を組にして、お買い求めの販売店にご持参ください。
  - ・一度充電が完了した後、次の充電まで5分程度休ませてください。同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
  - ・炎天下での使用や使用直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電してください。すぐ充電すると、蓄電池の寿命を短くします。
  - ・工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。無理に使い続けると、蓄電池が傷み、寿命を短くします。
  - ・正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がきたものとお考えいただき、新しい蓄電池と交換してください。寿命のつきた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。

### ○新しい蓄電池は、当社純正品をご使用ください

当社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物(蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます)は、安全性や製品に関する保証はできません。

# 木材を切断する

- 切り方の基本
- 玉切り

- 枝落とし
- 伐採作業

## 警告

- 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
- 木材の下側から切込みを入れる場合、ソーチェンを木材に強く当てないでください。機体が押し戻され、けがの原因になります。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いてください。

作業場所および周辺の環境をよく観察し、けがや事故、故障の原因になると予想できる物が作業場所にはないか確認し、ある場合には、あらかじめ取除いてください。

特に、作業時足場となる部分については、不安定であったり、つまずいて転んだりする物がないように整備してください。

立ち木の伐採作業を行うときは、倒れる方向、転がる方向にも細心の注意を払い、自分自身の退避場所・経路もあらかじめ決めて整備しておいてください。



## 注意

- スイッチを入れるとき、ソーチェンが材料や他のものに当たっていないことを確認してください。
- 使用中、ソーチェンが別の材料や他のものに触れないように注意してください。特に、切終わりのとき、地面に接触しないよう注意してください。

**注** オイルタンクが空にならないよう早目に油を補給してください。

# 1

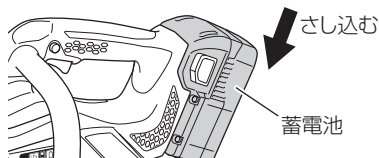
## スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずに蓄電池をさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

# 2

## 蓄電池を取付ける

下図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



# 3

## スイッチを入れる

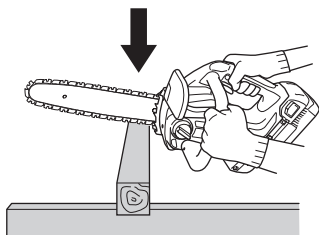
ソーチェンが木材に触れない状態でスイッチを入れ、ソーチェンのスピードが上がってから切断を始めます。

## ●切り方の基本

切断時本体を無理に押しつけても早く切れません。モーターに無理をかけ、能力も悪くなるばかりか、モーターやソーチェン、ガイドバーを傷め故障の原因となります。ソーチェンに速度が落ちない範囲で使用してください。  
とくに、ソーチェンが止まる(ロックする)ような使い方はけがや故障の原因になります。

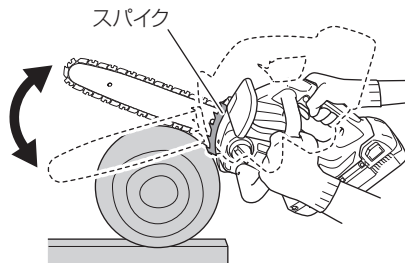
### 細い木材の切断

ガイドバーのつけ根付近を木材に軽く押しつけて切断します。



### 太い木材の切断

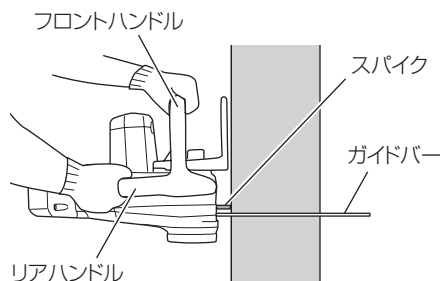
機体の前部についているスパイクを切断する木材に当て、このスパイクを支点として、テコ運動をしながら切断します。



### 木材を水平に切断

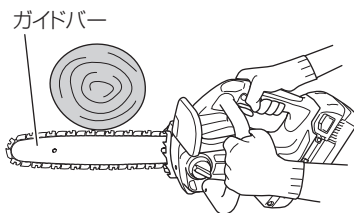
ガイドバーが下側になるよう機体を右側に倒した状態で、フロントハンドルの上側を左手で持ちます。

スパイクを使用する場合は、ガイドバーを水平にして機体の前部についているスパイクを木材に当て、このスパイクを支点としてリアハンドルを右に回すようにして切込みます。



### 木材の下側に切込みを入れる

ガイドバーの上側を木材に軽く当てます。ガイドバー先端部での切断はしないでください。キックバックによるけがの原因になります。  
(P 23「キックバックについて」参照)



## ●枝落としと玉切り

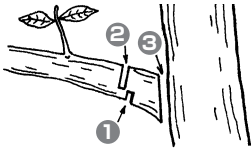
### ⚠ 警告

傾斜地で作業する場合は、必ず、木材の上方で作業してください。

### 立ち木の枝落とし

太い枝は、まずつけ根から少しはなれたところを切落とします。

- ① 下側から3分の1くらい切込み、
  - ② 上側から切落とします。
- 必要に応じて最後に、残りの部分を
- ③ つけ根から切落としてください。

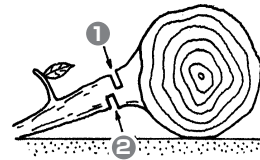


### ⚠ 注意

切断の際に、ガイドバーがはさまれないように注意してください。

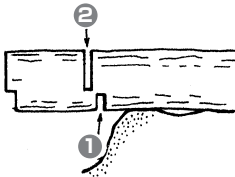
### たおれた木の枝落とし

地面に当たっていない枝から切落とし、その後地面に当たっている枝を切ります。地面に接触している太い枝は、① 上側から半分くらい切込み、② 下側から切込み、枝を落とします。



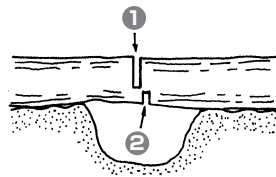
### 先端部分の切断

- ① 下側から3分の1くらい切込み、
- ② 上側から切落としてください。



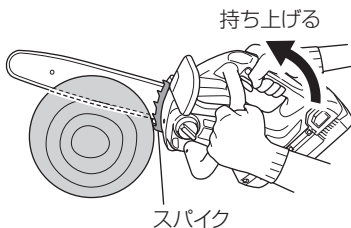
### くぼみを利用した切断

- ① 上側から3分の2くらい切込み、
- ② 下側から切通してください。



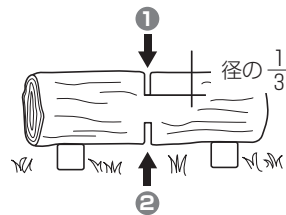
### 横たわっている木材の切断

木材の安定に注意してください。スパイクを木材に当て、このスパイクを支点としてハンドルを持ち上げるようにして切ると楽に作業できます。



### 木材が両端で支えられている場合

- ① 上側から3分の1くらい切込み、
  - ② 下側から切通してください。
- 上側からだけで切断しようとする、切り口にガイドバーがはさまれることがあります。



## ●立ち木の伐採作業

### ⚠ 警告

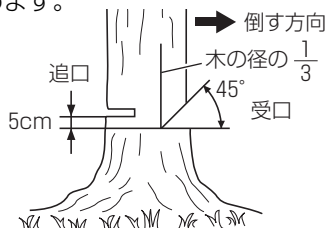
木が倒れる方向をよく確認してから、退避場所へ退避してください。

### ⚠ 注意

- 切断の際に、ガイドバーがはさまれないように注意してください。
- 傾斜地で作業する場合は、木の倒れる方向に注意してください。

### 立ち木の伐採

- ① 木の形状や周囲の状況を考慮し、木を倒す方向を決めます。
- ② 木のまわりの障害物を取除くと同時に安全な退避場所を決めておきます。
- ③ はじめに倒そうとする側に受口を切込みます。受口は木の直径  $1/3$  くらいが適当です。
- ④ 受口の反対側で受口の下面より 5 cm 程度高い位置より追口を切込みます。
- ⑤ 木が倒れはじめたら、スイッチを切り、あらかじめ決めておいた退避場所へ退避します。



## 切断作業上のご注意

### ●高負荷作業や連続作業について

本機はモーターおよび電子回路を保護するため高温となると、LEDライトが点滅してお知らせします。

無理に押しつけての高負荷切断や連続切断を行うと、モーターや電子回路が高温となりLEDライトが点滅する場合があります。

LEDライトが点滅したら、使用を中断して機体を十分に冷却してください。そのまま、使用すると故障の原因になります。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時に機体を 15 分程度休ませてから使用してください。

なお、作業中断後、スイッチを入れたときLEDライトが点滅するときは、機体の冷却が十分ではありませんので、もう少し休ませてからスイッチを入れてください。

### ●チェーンソーの保持と押しつけ力について

チェーンソーは確実に保持してください。

また、チェーンソーは必要以上に押しつけないでください。切断時、チェーンソーを無理に押しつけても早く切れません。モーターに無理をかけ、能力も悪くなるばかりか、モーターやガイドバーを傷め故障の原因となります。

ソーチェーンに速度が落ちない範囲で使用してください。

とくに、ソーチェーンが止まる（ロックする）ような使い方は、けがや故障の原因になります。

# ソーチェンの目立て

ソーチェンの切れ味が悪くなると、モーターや機体の各部に無理をかけ、能率も悪くなります。

本機的能力を発揮するためには、ソーチェンをまめに手入れし、切れ味の良い状態にしておくことが必要です。

## 警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、蓄電池を本体から抜いた状態で確認してください。

またソーチェンを取扱うときは、必ず厚手の手袋を着用してください。

**注** 目立ておよびデブスゲージの調整は、ソーチェンを機体に取付けたまま、ガイドバーの中央部で行ってください。

## ●目立て

ソーチェンの目立ては丸ヤスリと平ヤスリを使用します。

丸ヤスリはカッター部の研削に、平ヤスリはデブスゲージの研削に使用します。

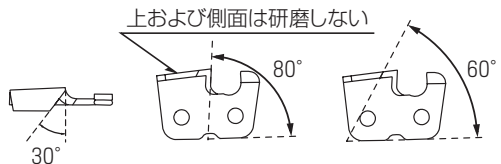
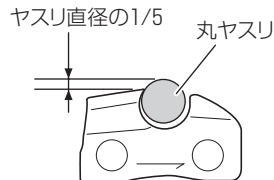
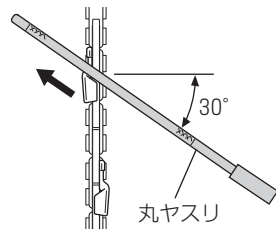
**注** 標準付属品の丸ヤスリはヤスリ部とグリップ部に分割されていますので、グリップ部を挿入して使用してください。

丸ヤスリは直径 4 mmを使用します。カッター部の研削は丸ヤスリの直径の1/5を上部に出して行います。

上刃目立て角は 30°です。丸ヤスリのグリップ側を前方に軽く押し出すように研削します。

手前に戻すときは、丸ヤスリがソーチェンに触れないようにしてください。

左右のカッターが均等になるようにヤスリをかけてください。すべてのソーチェンの角度がそろっていないと、曲って切れることがありますので注意してください。

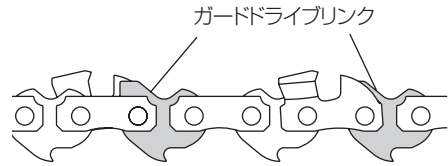
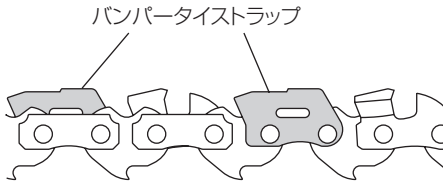




## ●デブスゲージの調整

### ⚠ 警告

- バンパータイストラップ、ガードドライブリンクの上部にヤスリをかけたり、変形させたりしないでください。
- デブスゲージの調整は、指定の寸法、形状にしてください。キックバックの危険性を高め、けがの原因になります。



デブスゲージはカッターが木材にくい込む深さを調整する役割をしますので、デブスゲージを全部一定にそろえることが大切です。

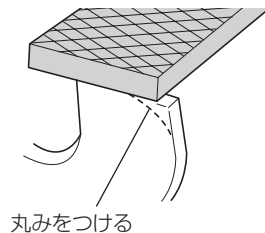
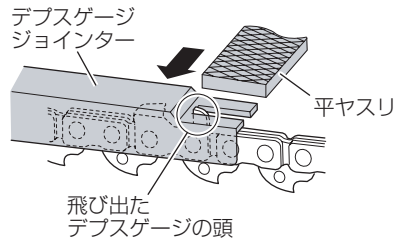
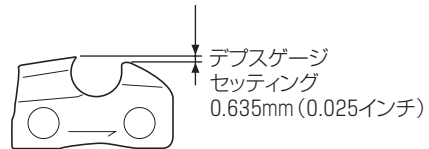
刃の目立て2～3回に1回は、必ずデブスゲージをチェックしてください。

デブスゲージジョインターをソーチェンの上のせ、溝の部分からデブスゲージをのぞかせ、デブスゲージジョインターから出ている部分を平ヤスリですり落としてください。(デブスゲージジョインター、平ヤスリは別売品です)

デブスゲージをすり落としたら、必ずデブスゲージの前側をもとのように丸みをつけてください。

ソーチェンの目立てが終わったら、チェーンオイルの中に浸してヤスリ粉を洗い落としてください。

ヤスリ粉がつまったまま使用すると、ソーチェンやガイドバーが早く磨耗します。



# 保守・点検

## ⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

## ⚠ 注意

手袋を着用し、ソーチェンだけがをしらないよう注意してください。

## ●ソーチェンの点検

- ときどきソーチェンを点検し、異常がある場合は、P 15「ソーチェンの取付け(交換)」に従い、新品と交換してください。
- ソーチェンの張りを点検し、正しく張られていない場合は、P 17の⑤からの手順で調整してください。
- 切れ味が悪くなったならそのまま使用せず、P 31の「ソーチェンの目立て」を参照し、目立てをしてください。
- ご使用後はさび止めのため、ガイドバーとソーチェンに十分チェーンオイルを回してください。

## ●取付ねじの点検

工具本体のねじがゆるんでいないか、点検してください。  
ゆるんでいたら、締直してください。

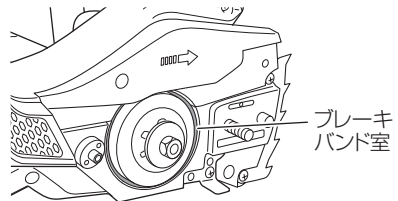
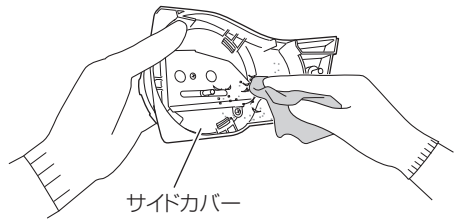
## ●お手入れする

工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

## ●サイドカバーおよびブレーキバンド室の掃除

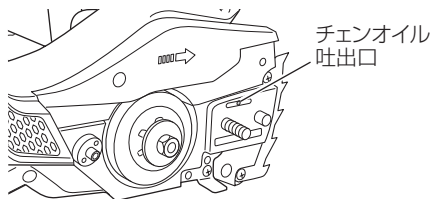
- 注** サイドカバー、ブレーキバンド室、チェーンオイル吐出口、ガイドバーの掃除は、P15「ソーチェンの取付け(交換)」の手順に従い、ソーチェンを取りはずして行ってください。

中にたまった木屑を除去して掃除してください。



## ●チェーンオイル吐出口の掃除

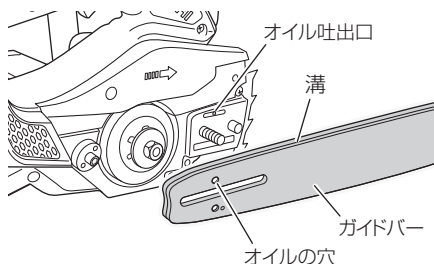
チェーンオイル吐出口は、サイドカバー、ガイドバーを取りはずし、掃除してください。



## ●ガイドバーの掃除

ガイドバーの溝やオイルの出る穴に切粉などがつまると、オイルが回らなくなり故障の原因になります。

使用后およびソーチェーンの交換時などにはガイドバーをはずし、溝などに入った切粉を取除いてください。(P 15「ソーチェーンの取付け(交換)」参照)



## ●モーター部の取扱について

モーター部(P 12「各部の名称」参照)の巻線は工具本体の重要な部分です。巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

**注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

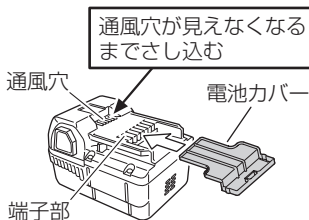
## ●蓄電池について

**注** リチウムイオン電池を保管するときは、**満充電**にして保管してください。蓄電池の残量が少ない状態で長期間(3ヶ月以上)保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなったり、充電できなくなる恐れがあります。使用時間が著しく低下した蓄電池でも、充電と使用を2~5回繰り返すと使用時間が回復する場合があります。充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命がつかたとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

### ⚠ 警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡(ショート)して発熱、発煙、発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を必ず守ってください。

- 収納ケース等に保管するときは、ケース内に導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡(ショート)するのを防ぐため、蓄電池は工具本体にさし込むか、電池カバーを取付けて保管してください。

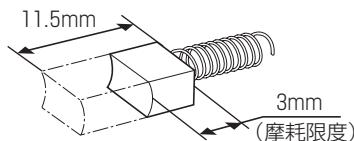


## ●カーボンブラシの点検と交換方法

モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと、モーターの故障の原因となりますので、長さが摩耗限度（3mmぐらい）になりましたら新品と交換してください。

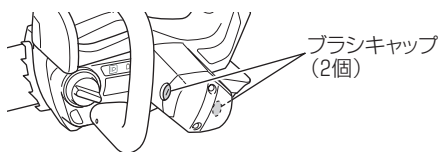
また、カーボンブラシはごみなどを取除いてきれいにし、ブラシチューブ内で自由にすべるようにしてください。

**注** 新品のカーボンブラシと交換の際は、日立カーボンブラシ（コードNo. 999068）を使用してください。



### 1 ブラシキャップをはずす

マイナスドライバーなどで反時計方向に回して取りはずします。



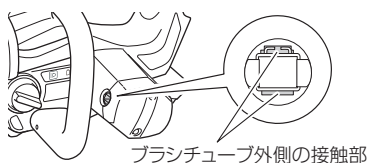
### 2 カーボンブラシを取出す

カーボンブラシのツバをマイナスドライバーなどで図のように引っ掛けて、取出します。



### 3 新しいカーボンブラシを取付ける

図のようにカーボンブラシのツメをブラシチューブ外側の接触部と一致するように方向を定め、指で押し込みます。



**注** カーボンブラシのツメは、必ずブラシチューブ外側の接触部に挿入してください（ツメは2カ所あるうちのどちらでも良い）。間違えるとカーボンブラシのツメが変形し、モーターの早期故障の原因になります。

### 4 ブラシキャップを取付ける

ブラシキャップでカーボンブラシを押さえ込みながら、マイナスドライバーなどで時計方向に回して締付けます。

# 保管方法

- 各部を十分に清掃し金属部にはさびないように防錆剤を薄く塗ってください。
- 長期間（1ヶ月以上）保管するときは、チェンオイルを抜き取ってください。
- 損傷箇所がある場合は必ず修理してから保管してください。
- ほこり、湿気のない乾燥した、また温度が50℃以上にならない場所に保管してください。
- チェンソーを移動、保管する場合は安全のため、必ず付属のチェンケースを取付けてください。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
  - 軒先など雨が降ったり、湿気のある場所には保管しない。
  - 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。
  - チェンオイルが漏れることがありますのでオイルを抜いて空にし、本体の下にはオイルが付いてもよい物を敷いてください。

# 故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

| 状況                                    | 原因                                      | 対策  |
|---------------------------------------|---|---|
| ソーチェーンが<br>・動かない<br>・動きが悪い            | チェンブレーキが作動している                          | ブレーキレバーを手前に引いて解除してください。                                       |
|                                       | ソーチェーンの張りがきつい                           | ソーチェーンの張り具合を確認して、きつい場合は、張りをゆるめてください。                          |
|                                       | ソーチェーンがスプロケットからはずれている                   | サイドケースをはずして、スプロケットにソーチェーンが正しくセットされているか確認してください。               |
|                                       | サイドケース内に…<br>→切粉がつまっている<br>→異物が引っ掛かっている | サイドケースをはずして、チェンカバー内を清掃してください。                                 |
|                                       | ガイドバーの溝に…<br>→切粉がつまっている<br>→油が回らない      | ガイドバーの溝やオイル穴を清掃してください。オイルタンクにオイルが入っているか確認して、なくなっていたら補充してください。 |
| 切れ味が悪い                                | ソーチェーンが…<br>→摩耗、刃こぼれしている<br>→錆びている      | ソーチェーンを目立てしてください。摩耗、刃こぼれがひどいときは、新しいソーチェーンと交換してください。           |
|                                       | ソーチェーンの向きが逆になっている                       | 正しい向きに付け直してください。  |
|                                       | ソーチェーンの張りがゆるい                           | ソーチェーンの張りを確認して、ゆるい場合は張りを強めてください。                              |
| チェンオイルが<br>・出が悪い<br>・出ない<br>(焼付きを起こす) | オイルタンク内にチェンオイルが少ない                      | チェンオイルを入れてください。   |
|                                       | チェンオイル吐出口がつまっている                        | 掃除してください。   |



# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

|          |       |           |
|----------|-------|-----------|
| お買い上げ日   | 年 月 日 | 製造番号(NO.) |
| 販売店(TEL) |       |           |

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日を除く 9:00~17:00

### ●フリーダイヤル



**0120-20-8822**

※携帯電話からはご使用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

|                              |                             |
|------------------------------|-----------------------------|
| ●営業本部<br>TEL (03) 5783-0626  | ●北陸支店<br>TEL (076) 263-4311 |
| ●北海道支店<br>TEL (011) 896-1740 | ●関西支店<br>TEL (0798) 37-2665 |
| ●東北支店<br>TEL (022) 288-8676  | ●中国支店<br>TEL (082) 504-8282 |
| ●関東支店<br>TEL (03) 5733-0255  | ●四国支店<br>TEL (087) 863-6761 |
| ●中部支店<br>TEL (052) 533-0231  | ●九州支店<br>TEL (092) 621-5772 |

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、  
下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点  
をご確認いただけます。

<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html>



右のQRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号(品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>